

こんな会社です



会社概要

ABOUT
COMPANY

会社名

株式会社太陽都市クリーナー

創立

1964年

所在地

広島県府中市

従業員数

29名（正社員27名）

事業内容

一般廃棄物収集、産業廃棄物収集、浄化槽管理ほか

特徴

事務所に猫がいる・社長が会社にいない

テレワーク

在宅勤務・部分在宅・モバイル勤務

導入形態

(内勤=ハイブリッド、現場=モバイル報告)

取組概要

きっかけ

2018年西日本豪雨 → BCPと働き方改革の必要性を痛感

業務のクラウド化

Chatwork、Google Workspace導入

勤怠、報告、請求処理のオンライン化（現在は16のクラウドツールを利用）

いつから？

2020年コロナ禍で本格運

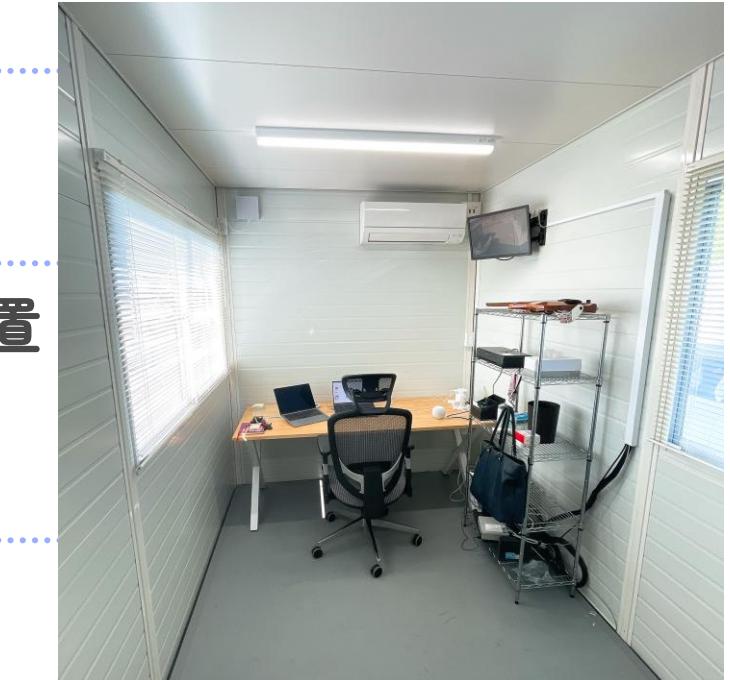
推進方法

用制度、ツール、意識改革の三位一体
小さく試して改善する“トライアル文化”

テレワーク移行への取り組み1

体験ルーム（1人用テレワークブース：右画像）を社内に設置

- ・「いきなり在宅は不安」を解消
- ・初めての人でも安心して試せるステップを用意



テレワーク移行への取り組み2

オンライン朝礼と雑談チャットで“孤立させない”運用

- ・全員参加の朝礼
- ・AI議事録共有
- ・雑談チャンネルで心理的なつながり維持

現在の運用

- ・内勤：ハイブリッド勤務（出社／在宅を選択制）
- ・現場：スマホ、Googleフォーム、チャットで“移動せず完結”

テレワークによる効果

生産性の向上

- ・書類処理日数：3日 → 0.5日に短縮
- ・電話応対時間：平均30%削減
- ・紙回覧が消滅し、出社・押印待ちゼロ

業務の効率化 (時間の創出)

- ・現場はスマホで日報提出 → 帰社不要
- ・Googleフォーム+写真+位置情報+音声入力
- ・内勤はクラウドで承認処理が夜間・外出先からも完結

採用力の向上

- ・若年層からの応募が大幅増
- ・以前：4週間で応募2名 → 直近：2週間で12名
- ・「柔軟な働き方ができる会社」としての認知向上

離職率の改善

- ・直近2年間で約50%減少
- ・育児・介護との両立が可能になり、就業継続が容易に

WLBの実現

- ・1時間単位の有給取得
- ・子どもの送迎・介護・通院など中抜けOK
- ・勤務時間外のチャット送信は予約機能で対応
- ・雑談チャンネル、オンライン朝礼、AI議事録で孤立を防止

企業イメージの向上

- ・2023年 広島県「働きがいのある企業」認定
- ・企業見学や説明会での印象改善
- ・DX・テレワーク導入企業として地域で信頼獲得

社員エンゲージメント の向上

- ・感謝・相談・共有ができるチャット運用
- ・評価はプロセスではなく「成果」を重視 → 自律性UP
- ・“信頼ベース”的制度運用で心理的安全性が向上

成功要因

小さく試して、抵抗感をなくす

- ・いきなり在宅にさせず、社内に「体験ルーム」を設置
- ・初めてでも不安が出ないよう“段階的に慣れる仕組み”をつくった

現場と内勤の“壁”をなくす設計

- ・日報はスマホで完結（Googleフォーム）
- ・写真、位置情報、音声入力で帰社不要
- ・全員が同じ情報に触れられるチャット運用

信頼ベースの運用（性善説）

- ・厳しい監視をせず、成果で評価
- ・メッセージは送信予約を使い、相手の私生活を尊重
- ・自律・心理的安全性が高まり、自発的に制度が定着

“テレワークできる仕事を
作る”発想

- ・現場職にもモバイル勤務要素を導入
- ・「内勤だけが得をする制度」にしないことで組織全体の納得感が生まれた

制度・ツール・意識を一体で進
める体制

- ・-社内ベンチャー「TTC-next」が小さく検証 → 改善
- ・ツール導入だけで終わらせず、「使い方」と「社内文化」まで含めて伴走
- ・継続して改善できる組織になった

「テレワークは“制度”ではなく“文化”」

全員を在宅にしなくても良い

職種に合わせて「できる範囲のテレワーク」から始める。

まずは効果が大きいものを

チャット／クラウド勤怠／オンライン書類処理
→ 紙と口頭をなくすだけで、生産性は大きく変わる。

小さく試して、続けながら改善

いきなり全社展開ではなく、“試す → 直す”を繰り返す方が失敗しない。

制度より文化づくり

雑談・オンライン朝礼・送信予約など、孤立させない運用が重要。

「信頼」と「心理的安全性」

管理よりも任せる。
「働きやすい職場」は、人が辞めず、採用が強くなる。